保育所藤崎台保育園　中・長期計画

基本理念及び基本方針

[法人の運営理念]

- ガバナンス（組織統治）の確立
  理事会を活性化するとともに、組織的な法人・施設運営に努めます。

- コンプライアンス（法令遵守）の徹底
  法令やルールに沿った法人・施設運営を行います。

- アカウンタビリティー（説明責任）の徹底
  ホームページや施設内掲示により情報を開示し、利用者や市民への説明責任を果たします。

- 地域支援・在宅支援
  地域の福祉ニーズに沿った公益的な事業に積極的に取り組み、地域支援・在宅支援に努めます。

- 人材の育成
  体系的な研修プログラムを構築し、職員の資質向上に努めます。

[保育理念]

- ひとりひとりの子どもが元気な体と心を育む保育園。
- 個人の成長と集団としての活動の充実を図る。
- 保護者と地域で協力しながら、信頼される保育園を目指す。

[保育目標]

- 自分の気持ちを伝えたり相手の話も聞ける。
- 保育園での決まりを知り約束が守れる。
- 興味のあることや経験することを楽しむ。
- 生命を大切にする気持ち、公共心、探求心などを養う。
- 食の大切さを知り興味関心をもつ。
- 異年齢児との関わりを通して生きる力を育む。

[保育方針]

- 一日一日を大切に子どもたちと過ごせることが楽しいと思う気持ちを持つ。
- 一人一人の成長過程を見守り、心の安定を図る丁寧な保育。

施設整備計画

（これからの方向性）

藤崎台保育園は、昭和６０年２月全面改築後、３６年余を経過し、施設の老朽化が目立つようになってきている。藤崎台保育園は交通の便や周辺環境に恵まれていることから、幸いにして児童数の減少に伴う入園希望者の減といった状況には陥っていないが、長期的な児童数の減少といった社会情勢に鑑みると安穏としている訳にはいかない。言うまでもなく子どもの保護者が保育園を選ぶ基準としては、周辺環境だけでなく、子どもに配慮した施設・設備、建物の老朽度、提供される特定教育・保育の質、マンパワー等があり、今後、①第三者評価等を通じた提供される特定教育・保育の質の向上、②保育士を中心としたマンパワーの資質向上と並んで、早急な施設整備が求められる。

（施設の整備方針）

① 保育を支える安全・安心な保育環境の確保

- 採光、換気等子どもの健康への配慮や、施設のバリアフリー化により事故の発生予防を図るとともに、園児等が不安なく安心して過ごすことのできる安心・安全な保育環境を確保する。
- 給食における食中毒の発生を防ぎ、食の安全を確保するため、学校給食衛生管理基準（平成２１年文部科学省告示第６４号）に基づく調理設備とする。
- 感染症の発生予防又はまん延防止のための衛生環境を確保する。
- 不審者の侵入防止など園児を犯罪から守るための防犯対策に配慮した施設整備を行う。

② 質の高い特定教育・保育を提供可能な施設設備

- 施設設備は、室面積等の「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（最低基準）をｸﾘｱするだけでなく、各ｸﾗｽにおいて質の高い特定教育・保育を提供することができる望ましいレベルの施設設備とする。
- ＩＣＴ化への対応と業務の省力化に資する施設整備を行う。
- 省エネ・省資源に配慮し、ｲﾆｼｬﾙｺｽﾄ・ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄの両面からｺｽﾄ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽに優れた施設整備を行う。

③ 周囲の環境と調和し、災害にも強い施設整備

- 熊本城内の一角にあり、緑溢れる閑静な高台にあることから、周囲の環境と調和した建物とする。
- 耐震性など災害に強く、備蓄倉庫等の防災機能を備えた建物とする。

（総事業費見込み）

ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ、地質調査、測量等の事前関連経費　１，２５９，０００円

建築関連経費　　３４３，６０７，０００円

内訳　建築工事費　３１２，７１４，０００円

（設備備品整備費５００万円を含む）

設計費　３０，８９３，０００円

［財源内訳］

国・市補助金　１８２，４１６，０００円

福祉医療機構借入金　４０，０００，０００円

（20年償還、年間返済額250万円程度）

自己資金　１２１，１９１，０００円

［自己資金の確保策］

保育園施設整備積立預金　４６，０００，０００円

童園施設整備積立預金　３４，０００，０００円

本部・保育所施設設備整備等積立資産　４１，１９１，０００円

（注）保育所施設整備等積立資産総額　８５，９００，０００円

人材育成計画

［保育士会倫理綱領］

すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく無限の可能性を持っています。

私たちは、子どもが現在（いま）を幸せに生活し、未来（あす）を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもたちの育ちを支えます。
私たちは、保護者の子育てを支えます。
私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくります。

（子どもの最善の利益の尊重）

私たちは、一人ひとりの子どもの最善の利益を第一と考え、保育を通してその福祉を積極的に増進するよう努めます。

（子どもの発達の保証）

私たちは、養護と教育が一体となった保育を通して、一人ひとりの子どもが心身ともに健康かつ安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、生きる喜びと力を育むことを基本として、その健やかな育ちを支えます。

（保護者との協力）

私たちは、子どもと保護者のおかれた状況や意向を受け止め、保護者とより良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支えます。

（プライバシーの保護）

私たちは、一人ひとりのプライバシーを保護するため、保育を通して知り得た個人の情報や秘密を守ります。

（チームワークと自己評価）

私たちは、職場におけるチームワークや関係する他の専門機関との連携を大切にします。また、自らの行う保育について、常に子供の視点に立って自己評価を行い、保育の質の向上を図ります。

（利用者の代弁）

私たちは、日々の保育や子育て支援の活動を通して子どものニーズを受けとめ、子どもの立場に立ってそれを代弁します。

また、子育てをしているすべての保護者のニーズを受けとめ、それを代弁していくことも重要な役割と考え、行動します。

（地域の子育て支援）

私たちは、地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、そのネットワークにより、地域で子どもを育てる環境づくりに努めます。

（専門職としての責務）

私たちは、研修や研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たします。

［組織が求める職員像］

・子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う。
・保護者の気持ちを受け止め、保護者の自己決定を尊重する。
・保育士等の専門性を向上させ、子どもたちの健やかな成長を実現させる。
・ 保育園内の体制整備を行ったうえで、関係機関と連携して子育て支援に努める。
・保護者と子どものプライバシーを保護し、守秘義務を遵守する。
・一人一人の倫理観、人間性並びに職員としての職務及び責任の理解と自覚を持つ。
・専門職の職務内容に応じた必要な知識及び技術の修得、維持向上に努める。

［人材の育成に向けた基本方針及び基本計画］

（基本方針）

・ 職員研修を新任職員、中堅職員（職務分野別リーダー及び専門リーダー）、基幹的職員（副主任保育士及び主任保育士）、施設長といった階層別に体系化する。

① 新任職員

保育士としての心得や保育専門職としての知識、技術を修得させる。また、業務目標を設定させ、目標達成のために定めた課題の達成に努めさせる。

② 中堅職員

職務内容に応じて、必要な専門的な知識、技能を修得させる。また、研修で得たことを他の職員と共有することにより保育所全体としての保育実践の質の向上に努めさせる。

③ 副主任保育士及び主任保育士

組織ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ、人材の育成・研修、他機関との連携、働きやすい環境作りなど、園の円滑な運営、特定教育・保育の質を高めるために必要なﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ能力及びﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ能力を修得させる。

④ 園長

管理職としての組織管理、ﾘｽｸ管理、財務管理等のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ能力を養うとともに、研修計画の策定など人材育成のための知識、技術を修得させる。

（基本計画）

- On-the-JobTraining、Off-the-JobTraining、Self Development System（自己啓発支援制度）を組み合わせた実践的な研修計画を作成し、研修の成果は職場内で共有する。
- 「保育士等ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」に基づき、経験年数及び職務内容に応じて、副主任保育士及び主任保育士については、①乳児保育、②幼児教育、③障害児教育、④食育・ｱﾚﾙｷﾞｰ対応、⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援の６つの専門分野別研修とﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修を、専門ﾘｰﾀﾞｰについては、４以上の専門分野別研修を、職務分野別ﾘｰﾀﾞｰについては、１以上の専門分野別研修を受講させる。
- 主任保育士及び園長については、上記ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修に加え、理念の浸透、ﾁｰﾑ構築、目標管理、情報共有、個人情報保護、人事評価、処遇改善、労務管理、衛生管理、新型ｺﾛﾅ感染症対策、事故防止対策、災害対策、ｾｷｭﾘﾃｨ及び不審者・防犯対策、ﾊﾗｽﾒﾝﾄ対策、保護者及び地域からのｸﾚｰﾑ対策、人材育成、財務分析などの組織管理、ﾘｽｸ管理、財務管理等にかかる研修を受講させる。

（保育士等ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修の受講状況は別紙のとおり）